

技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成 23 年 11 月〇日 (〇)
- 2 場所 1 年〇組 教室
- 3 学年 第 1 学年〇組
- 4 内容 C 衣生活・住生活と自立
(3) イ「衣生活又は住生活についての課題と実践」
D 身近な消費生活と環境
(2) ア「環境に配慮した消費生活の工夫と実践」
(旧 B(6)イ 「環境や資源に配慮した生活の工夫」)
- 5 題材 環境に配慮した暮らし方 ～省エネについて考えよう～

6 題材設定の理由

(1) 題材観

環境や資源を考えた生活は、将来にわたって、私たちの生活の中で重要な問題である。環境問題が社会に浸透してきてはいるものの、2007 年の資料では、CO2 排出量の約 20%が家庭に関するもので、年々増えてきている。まだまだ個人一人ひとりの意識が高いとはいえなかった。しかし、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災以来、国をあげてエネルギー問題を考えている。計画停電も行われ、実生活に影響が及んだ。国民一人ひとりの心がけが大切であると叫ばれ、省エネについての意識は徐々に高まってきている。中学生にとっても、家庭の一員として、家族や自分の生活を見つめ直し、環境や資源に配慮した生活のしかたを工夫する力をつけることは欠かせない。本題材を学習することにより、身近な生活の中のむだに気付き、自分の生活の中でエネルギーを節約できる工夫を考える力をつけることができる。また、環境や資源に配慮した生活への関心を高め、自分の生活にいかす実践的な力を付けようとする気概をもたせるためにも、本教材は有効である。

(2) 生徒観

生徒は、これまでの衣食住の基礎的・基本的な学習を踏まえ、生活の自立を目指し、実践的な態度を身に付けつつある。家庭生活における、衣食住の営みが環境に与える影響については、小学校でも学習しており、知識としては持っているが実感を伴った理解には至っておらず、自分が考えるべき問題として認識している生徒は少ない。

学校生活においても、教室移動の際の電気のつけっぱなし、扇風機のつけっぱなしや、給食の食べ残しなどが起こっているのが実態である。エネルギーのむだづかいをなくさなくてはいけないと理解していても、生活の中で実践している生徒は少数である。

生徒は純朴で素直であるので、本題材を学習することにより、自分の暮らし方の課題を見付け、環境に配慮した生活の工夫を考えるであろう。

(3) 指導観

環境や資源に配慮した生活への関心を高め、より身近な問題としてとらえさせ、環境に配慮した生活について工夫し、実践できる能力と態度を育てたい。そこで、次のように工夫する。

- ① CMを教材として取り入れることで興味をもたせ、より身近なことがらに気付かせる。
- ② ワークシートを活用することで生徒が授業の流れを把握できるようにする。
- ③ 少人数グループ学習を取り入れることにより、自分で気付かなかった点を確認し、新しいアイデアを引き出す。
- ④ キャッチフレーズを作成して、自分の考えを相手に分かりやすく発表することにより、言語活動を充実させる。

7 題材の目標

自分や家族の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できる。

8 指導計画 (7時間扱い)

「住生活の自立：住居の機能と住まい方」

1. 住居の基本的な機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間
2. 安全な室内環境の整え方、快適な住まい方の工夫・・・・・・・・・・3時間

「住生活などの生活の工夫」

1. 住生活についての課題と実践・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

「身近な消費生活と環境」

1. 環境に配慮した消費生活の工夫と実践・・・・・・・・・・1時間(本時)

9 本時の学習

(1) 学習課題

環境や資源に配慮した生活への関心を高め、より身近な問題としてとらえることができる。

(2) 学習目標

生活を見つめ直し、環境や資源に配慮した生活のしかたの工夫を考え、キャッチフレーズとして表現することができる。

(3) 学習活動における仮説

生活の中のエネルギーのむだづかいに気付き、エネルギー消費が環境や資源に影響を与えていることを知ることで、自分の生活の中でエネルギーを節約できる工夫を考えることができるであろう。

(4) 本時の評価規準

① 生活や技術への関心・意欲・態度

- ・ビデオを視聴し、生活の中のエネルギーのむだづかいに気付くことができる。
- ・自分の考えを積極的に発言し、話し合い活動に参加している。

② 生活を工夫し創造する能力

- ・環境や資源に配慮した生活の工夫を考えることができる。

③ 生活や技術についての知識・理解

- ・省エネや環境問題に関することらを知っている。

過程	学習活動	学習活動の支援・説明	評価の規準や方法	教材・教具
課題づくり	<p>○本時の学習内容の確認をする。</p> <p>○前時に、省資源・省エネルギーを実現する住まい方の例を学習したことを思い出す。</p> <p>○VTRを見る。</p> <p>○ワークシートを見る。</p> <p>○“ばなし”の事象を確認し発表する。</p> <p>○ワークシートに記入する。</p> <p>○CMが訴えていることを考える。</p> <p>無駄をなくせばCO₂がなくて、地球温暖化防止になる</p>	<p>・前時の確認をする。</p> <p>・省エネについて考えることを知らせる。</p> <p>【活動指示】 「『ばなしのはなし』というビデオを見よう。」</p> <p>【活動指示】 「ビデオに出てきた歌詞を確認しよう。」 「抜けている歌詞をうめよう。」</p> <p>【活動指示】 「ビデオの中の“ばなし”は何の“ばなし”か、うめてみよう。」</p> <p>【発問】 「このCMが訴えたいことは何だろう。」</p>	<p>・ワークシートを記入しているか。【ワークシート】（関）</p>	<p>ACのビデオ</p> <p>ワークシート①</p>
計画の立案	<p>○本時のねらいを確認する。</p> <p>○ライフスタイルの変化を考える。</p> <p>・電気製品の発達</p> <p>・大量生産</p> <p>・使い捨て商品の利用</p> <p>・ゴミ問題</p>	<p>【説明・板書】 省エネに関するキャッチフレーズをつくろう</p> <p>【発問】 「20年くらい前と比べ私たちの暮らしはどのように変わっただろう。」</p>	<p>・ワークシートに記入しているか。【ワークシート】（関）</p>	

<p>実践</p>	<p>○省エネに関するキーワードを考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリットカー ・太陽光発電 ・ 3R ・LED ・ クールビズ ・ゴミの分別 ・ 節水コマ ・節電 ・ エコ ・ マイバック </div> <p>○自分の生活の中で課題のあるキーワードを見付ける。</p> <p>○自分の選んだキーワードを参考にキャッチコピー、キャッチフレーズを考える。</p> <p>○作成したキャッチフレーズを発表する。</p>	<p>【活動指示】 「省エネや環境問題に係るキーワードをあげてみよう。」</p> <p>【個別支援】 ・ ヒントを与える。</p> <p>【活動指示】 グループ学習 「自分のあげたキーワードを班で発表しよう。」</p> <p>【活動指示】 「班の人の意見も参考にし自分の生活の課題となるキーワードを見付けよう。」</p> <p>【活動指示】 「キャッチフレーズを考えよう。」</p> <p>【活動指示】 「キャッチフレーズを発表しよう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードをあげることができるか。【ワークシート】（知） ・ 話し合いに積極的に参加しているか。【観察】（関） ・ キャッチフレーズとして表現することができたか。【観察・ワークシート】（工） 	<p>ワークシート②</p>
<p>評価</p>	<p>○自己評価表に記入する。</p>	<p>【活動指示】 「今日の活動を振り返ろう。」</p>		<p>自己評価表</p>

自己評価表

年 組 番 名前

A: 80%以上 B: 50%以上 C: 50%未満

1. ビデオを見て、生活の中のむだづかいに気づくことができましたか。	A	B	C
具体的にどんなこと? []			
2. 話し合いの場面では、自分の考えを積極的に発言することができましたか。	A	B	C
3. ミッション1: キーワードをあげることができましたか。	A	B	C
4. ミッション2: みんなに訴えが通じるキャッチフレーズをつくることができましたか。	A	B	C
5. 今日の授業を終えて、自分の生活の中に生かそうと思ったことを書きましょう。			